

東京湾奥における魚類の出現状況

～最近 10 年間のモニタリング調査から～

東京湾奥において小型底曳網による魚類のモニタリング調査を継続して実施していますが、今回、最近の 10 年間（2011～2020 年）について取りまとめたところ、延べ 23 万尾、12 目、76 種の魚類が出現しました。出現尾数はマハゼを中心にハゼ科魚類が 89%と突出し、カタクチイワシ、サッパ、アユ、シログチ、コノシロ、スズキと続きました。

実施機関	振興企画室	事業名	内湾資源環境調査
------	-------	-----	----------

（背景・ねらい）

水産資源を有効活用していくためには、対象水域の魚類の生息状況を把握することが基礎となります。島しょ農林水産総合センターでは、東京湾奥において昭和 59（1984）年から毎年のモニタリング調査を実施しています。今般、平成 23（2011）～令和 2（2020）年までの 10 年間に図 1 に示す St. 1～5 の地点で出現した魚類の出現状況が明らかになったので報告します。

（成果の内容・特徴）

① 採集方法と出現した魚類の種組成

生物の採集に当たっては、動力船により小型底曳き網（目合い 1 mm）で各調査地点の海底 30m を微速で曳網しました。直近の 10 年間の調査で合計 23 万尾、12 目 76 種の魚類が仔稚魚を中心に出現しました。76 種中、累計の出現尾数が 1,000 尾を超えた種は、ハゼ科が 9 種で、それ以外ではカタクチイワシ、サッパ、アユ、シログチ、コノシロ、スズキの 6 種が続きました（表 1）。その他にも様々な種が出現しました（表 1）。なお、タイ科魚類（マダイ、クロダイ、キチヌ）は過去にはごく稀にしか出現しませんでした。今回は少数ながらも稚魚が出現しました（表 1）。

② 出現した魚類の多くはハゼ科魚類

全出現尾数の 9 割近くをマハゼ（71.0%）とその他のハゼ科魚類（18.1%）が占めました（図 2）。出現したマハゼのほとんどが仔稚魚であり、その数は 499～50,831 尾と著しい年変動が見られました（図 3）。

③ アユ稚魚の出現状況

“江戸前アユ”として多摩川で注目されているアユは、出現した個体は全て“シラスアユ”と呼ばれる仔魚で、経年では 1～1,970 尾と極端な年変動を示しました（図 4）。

④ 湾奥の役割と重要性

東京湾奥部には、コノシロ、スズキ等の比較的漁獲の多い魚種以外にも多種多様な仔稚魚が生息することが確認できました。このことは、この海域が魚類の再生産の場所として活用されていることを示唆しています。特に、出現割合の高かったマハゼは、レジャーとしての釣りの対象魚として人気が高く、重要な観光資源の一つとなっています。また、多摩川河口付近ではまとまった数のアユの仔稚魚がしばしば確認されました。

（成果の活用と反映）

これらの成果は、東京内湾における魚類の動向を把握するための基礎資料となります。東京湾の再生に向けて、関係者が一同に集まる東京湾シンポジウムや水産分野による東京湾研究会などでの情報発信を行うとともに、今後の調査計画等に反映させていきます。

（木本 巧）



図1 調査地点 (St. 1~5)

表1 魚種別総出現数

魚種	総尾数
マハゼ	115,500
エドハゼ	15,246
カタクチイワシ	5,383
サツ	3,158
ニクハゼ	2,606
アユ	2,421
サビハゼ	1,965
シログチ	1,866
コノシロ	1,735
アシロハゼ	1,660
ビリンゴ	1,617
アカハゼ	1,305
スウキゴリ	1,090
コモチジャコ	1,071
スズキ	1,020
ウキゴリ	669
ミズハゼ	644
マコガレイ	589
ヒメハゼ	506
ヒモハゼ	482
シマハゼ	321
イシガレイ	272
ヒイラギ	235
ハタテヌメ	216
シロギス	185
マイワシ	171
ダイナンギン	117
ヒナハゼ	79
ウルメイワシ	74
ドロボ	69
メバ	52
ギン	51
マゴチ	20
ニベ	18
ギン	15
クロソイ	13
テンジクダイ	12
ニシキギン	11
ツマグロシハゼ	8
ヨシウオ	8
スジハゼ	7
ウロハゼ	7
アカシタビラメ	6
クロダメイ	5
キチヌ	5
イソギン	5
ムラソイ	5
ナベ	4
ゲ	4

(表1-続き)

トウゴロイワシ	3
カサゴ	3
ニシキハゼ	3
アカオビシマハゼ	3
イシカワシラウオ	3
アゴハゼ	3
ヒラスズキ	2
イダテンギン	2
ネズツボ	2
ネズミゴチ	2
ヤミハゼ	2
カライワシ	2
アミメハギ	2
サヨリ	1
イセゴイ	1
ハモ	1
イサキ	1
マダイ	1
クロイシモチ	1
マアジ	1
コショウダイ	1
トサカギン	1
リュウグウハゼ	1
チヤガラ	1
アベハゼ	1
チ	1
メイタガレイ	1

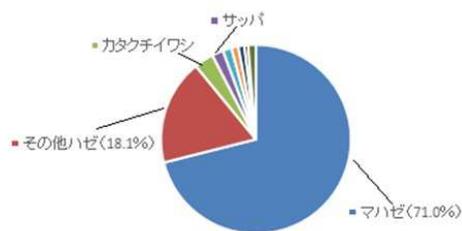


図2 ハゼ科魚類の占める割合 (10年間)

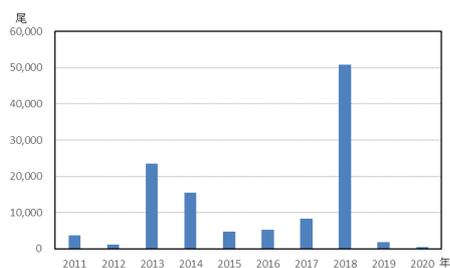


図3 マハゼ出現数の経年推移

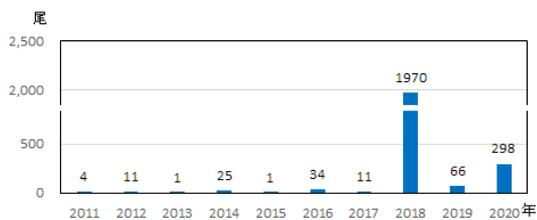


図4 アユ出現数の経年推移